



いちご組だより
臼井幼稚園
令和7年4月28日発行

桜が終わると、新緑が一斉に芽を伸ばしはじめ、園庭の芝生も緑が美しい季節です。

4月の誕生会が終わったばかりですが、なんと誰も泣かずに、座って参加できました。“ちゃんと”は求めていませんが、なんだか自然と“ちゃんと”していました。

子ども達は幼稚園では“ちゃんと”しているけれど、ご家庭だと暴君と化す、とよく聞きます。場合によっては、これはとてもいいことと言えます。ご両親にちゃんと甘えることができ、安全基地だと認識しているから、安心して暴れることができる。どんなに暴れても、わがままを言っても、ちゃんと愛されている、ありのままを受け入れてもらえる、という実感があるからです。

逆に幼稚園でみんながちゃんと話を聞いているのに、聞けない子もいます。叱られることがわかっているのにわざと叱られるようなことをする子も稀にいます。叱られるとわかっているのに、なぜ叱られるようなことをする子がいるのでしょうか？

30人で話を聞いていても「ぼくがぼくが」「わたしがわたしが」と自分の話を聞いて！とばかりに訴えてくる子がいます。子どもは「あなたが大切」「あなたのことを見ていますよ」と受け入れて欲しいのです。家庭でしっかりと親に受容されることが、子どもの心を安定させるのです。安定すると周りの子が見えてきます。他の子への思いやりはその次の段階です。

人間の一生はだいたい八段階くらいに区分されるといわれています。第一段階は、一番大切な第一段階の「受容」。第五段階で大人になる過渡期＝アイデンティティの獲得の時期がきます。最近はこのアイデンティティの獲得という関門を乗り越えられない若者が増えていると聞いています。アイデンティティの獲得とは「自我同一性」＝「心のよりどころ」のことを言います。「心のよりどころ」を求めて集団とうまく繋がれない、不登校、ひきこもり、様々な依存症、親になってからの我が子への虐待。そういうものが増えているのは皆さまもご存じのことだと思います。

こんな難しい言葉で説明しなくても、幸せに暮らしている私たちは幸せなのだと思えます。幼稚園の時期は親御さんとの時間がたくさん持てる時期です。たくさん愛情をかけて育ててください。「愛されている」と実感できた子どもは強いです。友達にも優しくできます。

「人間は集団の中でつながり合って生きる動物」です。つながりを求める動物とも言えます。幼稚園ではそのつながりを円滑に、自我と折り合いをつけながら、子ども達は生活をしています。幼稚園では我慢もしていることでしょう。そのストレスが家庭で発散されているのも想像がつかます。でもストレスはそう悪いものではなく、成長を促すものであるともいいますので、鬱憤を晴らす

ことがあっても、少々大目に見てください。

今年のゴールデンウィークは3日から7日まで幼稚園はお休みです。今年は5月7日を創立記念日として休園させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ください。

ホームページにはパスワードでロックされたページに毎日の活動の様子を写真に撮り、名前を消してアップしています。この写真はメモリッジという会社を通して購入することができます。幼稚園のホームページでは載せきれなかった写真もたくさん見られるはずですので、ぜひご登録ください。

Instagramには毎日の給食の画像と、時々動画を載せています。ここは子どもが誰か、他人には判別しにくいくらいのサイズでアップします。インスタライブをすることもありますので、Instagramをしたことがない方も、是非アカウントを取得してください。

お弁当の投稿もホームページにアップしています。投稿をお待ちしています。

「子どものつぶやき」を常時募集しています。ホームページからも投稿できます。ご提出くださった「子どものつぶやき」は、年度末(3月)に、小冊子にして毎年配布しています。教員達にも子ども達との会話をメモするように伝えており、毎年たくさんのつぶやきが集まります。子どもとの会話をぜひメモしてみてください。子どものつぶやきは“生きている心”です。この時にしか発せられない子どもの言葉を、キャッチして書き留めておけば、いつか忘れてしまうはずのことが、記録として残ります。

*幼稚園の防災倉庫には長期保存できる食品や毛布などを備蓄しています。防災費(500円)の集金をさせて頂きましたが、年度末に食品を持ち帰ります。

園長 志田 裕美子

<担任から今月のメッセージ>

「ママーーー！」

「お母さんのところに行く！」

「バスで帰る！バス来て！帰るー！！」

と、朝はたくさんの声はまだまだしていますが、ずっと泣いているわけではなく、笑顔の時間が少しずつ増えていきます。

お母さんが大好き！という気持ちは受け止めつつ、幼稚園が楽しいところだということを知ってもらえるように、たくさん遊んで活動をして、信頼関係を築いていきたいです。そして、いちご組みんなが笑顔の日が増えると嬉しいです。

もう少しでこどもの日なので、園庭には鯉のぼりが、廊下には兜が飾られています。

クラスから園庭が見えるので、飾られた初日から

「おっきいおさかなだー！」

と、とても喜んでいました。

好きな色の鯉のぼりを教えてくれる子や、何色の鯉のぼりを触れたのか教えてくれる子、数を数えて緑が2匹しかいないことを教えてくれる子もいました。

兜は家にあるのは箱の中に入っていると教えてくれる子、靴脱いでるね！と気がつく子もいました。

<2ページへ続きます>

園庭で遊んでいると
「ゆうが先生こっちに来てー！」
「ゆうが先生！やっほー！」
と、私を呼んでくれる子が増えてきて、名前を覚えてくれたことがとても嬉しいです！
砂場ではアイス屋さん、ケーキ屋さん、プリン屋さんなど美味しそうなお店を開いてご馳走してくれる子がたくさんいるのでお腹がいっぱいになるまで料理が運ばれてきます。鬼ごっこが好きな子も多く、
「ゆうが先生と逃げたい！」
と言ってくれるのですが鬼役がいなくなってしまうので、私が鬼役をするとすると
「〇〇も鬼する！」
「僕も鬼がいい！」
と、逃げる役がいなくなり、みんなで「鬼だぞー！」と、鬼のツノを指で作って鬼になり、誰を捕まえるわけでもなく園庭を思い切り走った日もありました！
これからたくさんのお遊びを通して、友達の輪が広がると嬉しいです。

ついこの間入園式で、初めまして！とっていましたがもう5月で1日1日がとても早く感じます。なにか心配なこと、困ったこと、共有したいことがありましたらいつでもお声がけください。1年間よろしく願いいたします。

杉本 ゆうが